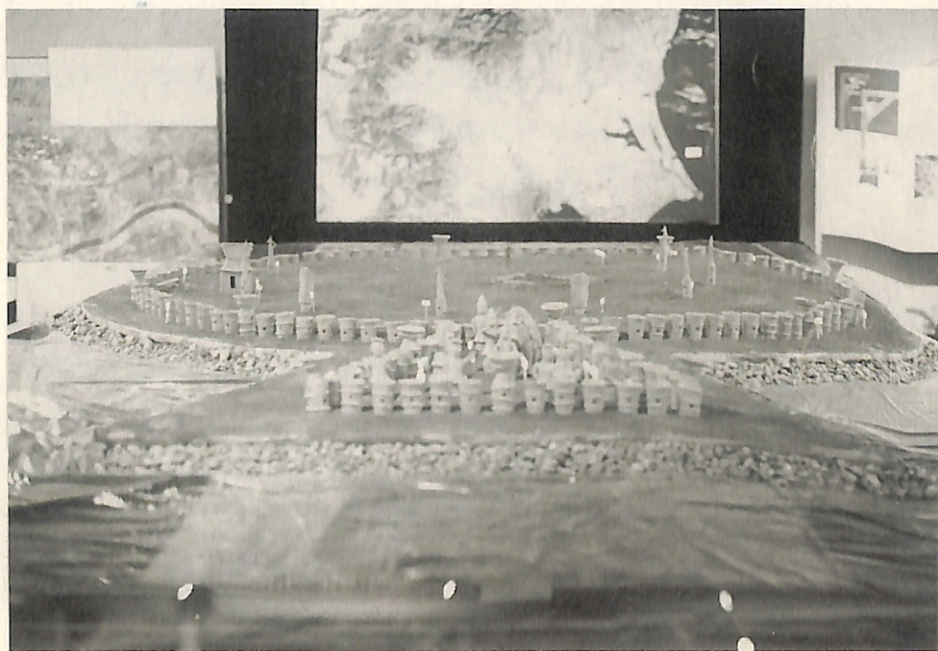


特別展

見本

古墳時代の^{ふさ}総の国

平成4年2月26日～3月27日



利根町歴史民俗資料館

利根町教育委員会

古墳時代の^{ふさ}総の国

○ 総の国とは

安房・上総・下総の三国が出来たのは大化の改新（646年）からのことで、それ以前は総の国と呼ばれていました。フサとは麻の古語で、弥生時代に四国の阿波から移住した人達が先ず半島南端に上陸開拓を始めました。以後、北上して東西に流れる中規模の河川が多いその流域に水田を開き、良い港湾にも恵まれて農業・漁業共に豊かになり、弥生時代終末期には入植地ごとに小さな国が成立していました。ヤマト王朝の勢力が及んだのは4世紀の頃と思われ、関東地方の強大な毛の国と共に総の国として他の相模国・武蔵国・常陸国を抜いて東北計略の基地として重視されたのです。

○ 古墳時代とは

古墳とは古代人の墳墓のことですから縄文時代の土壙墓・配石墓や弥生時代のカメ棺墓・支石墓・方形墓・飛鳥奈良時代の陵墓・官人墓のどれも古墳ですが、歴史年表上では巨大古墳の現れる3世紀末からの4・5・6世紀の300年間を古墳時代と呼びます。それで研究者によっては前方後円墳の時代とする人もいます。

○ 古墳の歴史

弥生時代の日本では各地の農耕集団が成長し、それが集合して小規模な国造りが進められていました。あの八角形の墳丘をもつ吉野ヶ里遺跡も弥生中期末に属しますし、邪馬台国の女王卑弥呼の径百歩の冢墓も248年ですから弥生時代後期のことです。その頃になると大陸の文化の流入も多

く、北方型の方墳・南方型の円墳などがつくられ房総地方では神門4号墳などもこの時期に当たります。4世紀に入ると奈良三輪山の麓に石室をもった墳丘長276m、高さ27mの巨大な前方後円墳が出現します。記紀に「日は人作り、夜は神作る」と歌われた箸墓古墳です。古墳時代の始まりで以後九州、四国、北陸、関東に次々と巨大な墳丘墓がつけられます。

この4世紀の古墳には鏡・玉・剣の他に王権を表わす腕輪・石釧・鍬形石が副葬されており、列島上の幾つかの地域ブロックごとの国家をヤマト王権が合併して強大な統一権力を樹立して行く過程が読み取れます。

○ 総の国の古墳

総の国にも千葉県長生郡の能満寺古墳・沼南町の北作1号墳など73.5m級の前方後円墳が出現したのが4世紀で円頂部から舟形木棺が出土しました。

総の国の歴史は日本武尊の伝承にもよるように木更津付近から波状に北上し香取の海・印旛の海と呼ばれる流海で一息つき、次に東は香取・鹿島から西は鬼怒川ぞいに北上していった事が古墳をたどって見ることでわかります。

毛の国の古式古墳は竪穴式石室を持つ前方後円墳で円筒埴輪をめぐらし鏡・玉・剣・銅鍬を副葬する東山道系であるのに対し、総の国の古式古墳は石室・埴輪を欠き、特に三角縁神獣鏡は香取の一面をのぞいて全く見られず、形態的にも異質のものが多いのは、毛の国が強力な豪族に統治されたのに対し、総の国は次々と派遣されるヤマト王権の軍団を受け入れ送り出して定住しなかった為でしょうか。軍団が北上するのに大切なのは軍糧ですが、それを維持するために多くの開拓移民を受け入れ豪族が生まれました。6世紀にはそうした豪族の墓が各処に築かれ、多くの埴輪が作られました。総の国の埴輪は毛の国のように首長の権威を表わすと云うより、もっと共同体的基盤に密着した首長の姿を表現しているようです。

○ 利根町の古墳

利根町にも多くの古墳がありました。明治時代に立木から出土した鏡や剣が東京帝室博物館に寄贈されていますが出土した古墳の場所は不明です。又、昭和12年に破壊されてしまった布川台古墳は、墳頂の石槨から舟形木棺に葬られた人骨が出土、副葬品として鏡・銅剣・鉄剣の他多数の玉類が出たと言われますが戦争中のこともあって散逸してしまったのは残念です。恐らく北作1号墳と同時期のものであったでしょう。奥山古墳群は6世紀から7世紀にかけてこれも息の長い古墳のあつまりでした。1号墳は6世紀前半、2号墳は6世紀末、そして3号墳は貝化石ブロックを用いた棺槨をもつ方墳で7世紀前半と考えられますが土取でいずれも破壊されてしまいました。現在は、よろい塚・かぶと塚の5世紀に入る前期古墳二ヶが残るのみです。当時の利根町の位置は相馬郡として流海に臨み北への第一線を守る武将が配置されていたと考えられます。利根町からは埴輪は発見されていません。

○ 埴輪の歴史

埴輪は記紀の記事にある様に野見の宿禰の故事によって殉死代用の供献物と考えられていましたが、考古学研究が深まるにつれて、出土状況から墓前の供献の器として吉備地方（岡山県）にあらわれた朝顔形円筒と壺形土器の組合せに始まり、墓域を聖別するものとして円筒埴輪列が4世紀に先ず出現し、次に盾や蓋（きぬがさ）などの器財埴輪、甲冑・鞆（ゆき）などの武具・家・鶏・水鳥などが配列され、5世紀に関東地方に伝わり先ず毛の国の太田の渡良瀬川扇状地を中心に高崎・伊勢崎・藤岡・前橋へと発展しました。近畿地方ではその時すでに埴輪供献は衰退していましたが関東地方ではそれから6世紀に最盛期を迎えたのです。しかも多様な形象埴輪やその配列から、当時の民俗まで読み解くことが出来るようになり、記紀や風土記の記述の裏付けもされるようになったのでした。

埴輪は韓国からは出ませんので、有名な中国秦の始皇帝陵墓の兵馬俑や形は小さくなるが漢代や魏晋朝の陶俑の流れをくむもので直接に日本に入っ

たようです。

○ 群集墳の形成

よい石材の少ない総の国では毛の国のような横穴石室・家形石棺は極めて少ないのですが、6世紀から7世紀中頃までの150年間、50基、100基と多数の小型円墳に限られた地域に集められる群集墳がみられます。これは地域の支配秩序のなかで豪族の一族や官人的性格の支配者が定住して数世代に渉って古墳をつくりつづけたものです。こうした中で近畿の大王陵にみられる方墳が一部の豪族の中でも築造され、竜角寺古墳群の岩屋古墳に古墳時代の最後の姿がしのべれます。

利根町でも貝化石ブロックを用いた3号古墳が方墳でした。又、東北に伸びた王権の代表者たちも勝田市の虎塚古墳に見られる石室内壁画や近くにある横穴群集墳を最後に、古墳の築造は終わります。大化の薄葬令から半世紀が過ぎていました。

○ 東アジアの古墳文化

日本の墓制に大きな変化を与えた大陸の古墳文化に触れてみましょう。エジプトに段丘墓から発達した巨大なピラミッドが築かれたのは今から4600年前のことで、その頃の中国に商と言う国があり大規模な地下式竪穴墓が作られ青銅器が供献埋葬されました。

この時代の中国では埋葬（かくしほうむること）なので人目にふれるしるしは造らないのが原則でした。墳丘がつくられたのは次の周代からで身分により規制がありました。それが大規模に作られるようになったのが秦の始皇帝の墓で70万人を動員し十余年をかけて底部は一辺約500m、墳丘高120mのピラミッドを黄土で築きました。地下には大宮殿を、その東には有名な兵馬俑を並べた土杭が掘られていました。日本の弥生時代のことです。これ以後の中国でもこれほど巨大墳墓はつくられていません。しかしこの方墳の形式は漢代にうけつがれて北部朝鮮の高句麗に伝えられ、長江

以南では馬王椎漢墓に見られる円墳が主流となって南部朝鮮の三韓に伝わりました。日本には半島の道や海上の道から九州や西日本に入ったのですが、それが前方後円墳とどのように結びついたかは明確ではありません。



冠帽をかぶった男子

千葉県芝山町宝馬 1 号墳出土



乳の画かれた男子

千葉県小見川町城山古墳出土



飾り馬

千葉県芝山町山田古墳出土



竜角寺古墳群
101号墳出土
円筒埴輪

盾持ちの男子

※千葉県立房総風土記ヶ
丘資料館では平成4年
4月より101号墳埴
輪列の復元野外展示が
行われます。

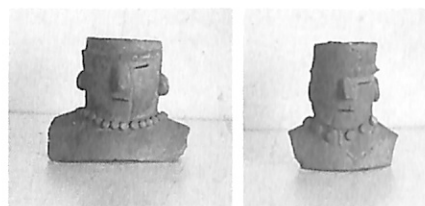


千葉県沼南町

北作1号墳

(4世紀)

供献土器写真



埴輪男子頭部 2体

我孫子市高野山古墳出土



朝顔形円筒埴輪

我孫子市子の神古墳出土

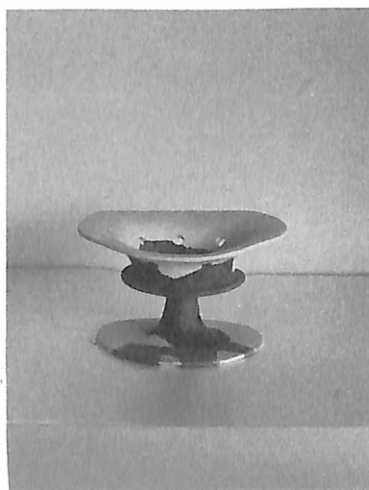
勾玉及び切子玉

我孫子市白山一号墳出土



線刻入円筒埴輪

我孫子市金塚古墳出土



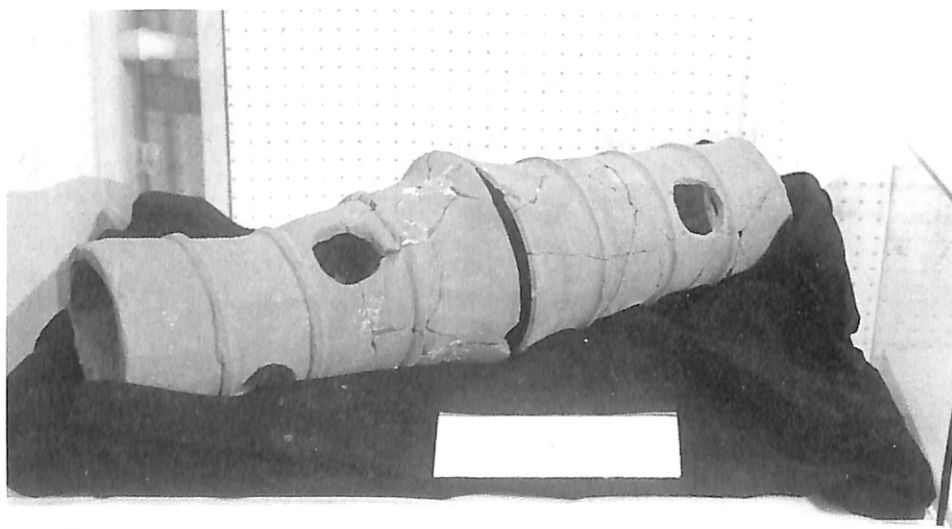
供献土器

我孫子市久寺家古墳出土



埴輪頭部 2体
左 女子 右 男子

取手市市之代古墳出土



円筒埴輪棺

取手市市之代古墳

円筒埴輪をカメ棺に利用したもの
全国で2例のきわめて珍しいものです。

出 展 目 録

出 土 地	品 目	所 蔵 者	備 考
千葉県小見川町 城 山 1 号 墳 城 山 1 号 墳	形象埴輪「乳の描かれた男」 形象埴輪「男子頭部」	芝山はにわ博物館	複 製 複 製
千葉県横芝町 姫 塚 古 墳 姫塚・殿塚古墳	形象埴輪「あごひげのある男」 全景写真 1		複 製
千葉県芝山町 宝 馬 古 墳 山 田 古 墳	形象埴輪「人物」 形象埴輪「馬」	芝山はにわ博物館 芝山はにわ博物館	
千葉県栄町 竜角寺古墳群	円筒埴輪 形象埴輪「盾を持つ男」レプリカ 第101号古墳全景写真 1 葉 第101号古墳石棺写真 第101号古墳形象埴輪「人物」 第101号古墳形象埴輪「馬」 第101号古墳形象埴輪「鹿」	房総風土記の丘 芝山はにわ博物館	
千葉県沼南町 北ノ作 1 号 墳	全景写真 1 葉 供献土器写真 1 葉	沼南町教育委員会 沼南町教育委員会	
千葉県我孫子市 高野山 1 号古墳 久 寺 家 遺 跡 白山 1 号古墳	形象埴輪「人物」 2 土師器 供献土器 2 勾玉 7	我孫子市教育委員会 我孫子市教育委員会 我孫子市教育委員会	

白山 1 号古墳	切子玉	9	我孫子市教育委員会
金 塚 古 墳	円筒埴輪（線刻）	1	我孫子市教育委員会
	朝顔形埴輪	1	我孫子市教育委員会
	短甲（写真）	1	我孫子市教育委員会
子の神 7 号墳	円筒埴輪	1	我孫子市教育委員会
	朝顔形埴輪	1	我孫子市教育委員会
茨城県取手市			
市之代古墳	円筒埴輪棺	1 対	取手市教育委員会
	形象埴輪「人物」	2	取手市教育委員会
	発掘現場写真	3	
茨城県利根町			
奥山 1 号古墳	直剣	1	利根町民俗資料館
	刀子	1	利根町民俗資料館
	石棺写真	2	利根町民俗資料館
奥山 2 号古墳	直刀	1	利根町民俗資料館
	挂甲片	1	利根町民俗資料館
	ガラス玉	4 0	利根町民俗資料館
	鉄鏃	3	利根町民俗資料館
	石棺内部写真	1	利根町民俗資料館
庄平エ台遺跡	土師器（坏）	5	利根町民俗資料館
	石製模造鏡	1	利根町民俗資料館
	須恵器（坏）	1	利根町民俗資料館
布 川 台	須恵器（坏）	1	利根町民俗資料館
	古墳跡写真	1	利根町民俗資料館
よろい塚、かぶと塚	全景写真	1	利根町民俗資料館

参考品

鋤（複製） 1 群馬県恵下古墳

塚廻り 4 号墳埴輪列想定模型 約 1 / 5 群馬県太田市出土

形象埴輪短甲をきた武人（複製） 2 埼玉県熊谷市上中條出土

形象埴輪踊る人たち（複製） 2 埼玉県江南町野原出土

形象埴輪挂甲をきた武人（複製） 1 群馬県太田市出土

形象埴輪太刀を持つ巫女（複製） 1 群馬県塚廻り 4 号墳出土

形象埴輪椅子にかける巫女（複製） 1 群馬県塚廻り 3 号墳出土

形象埴輪正装の女子（複製） 1 群馬県伊勢市出土

馬（複製） 1 埼玉県熊谷市上中條出土

鶏（複製） 1 栃木県真岡市鶏塚古墳出土

猿（複製） 2 茨城県玉造町大日塚古墳出土

水鳥（複製） 1 埼玉県行田市埼玉古墳出土